平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52501	保育・教職実践演習(幼) Childcare and educational practice practice	岡田・児玉・服部	専門	2	必修	2 年後期
科目の概要						
演習を中心として、学外での研究実践や学内での模擬保育、グループ討議を行う中で、学生が主体的に活動することで、その使命感や責任感を養い、また保育者としての子どもに対する教育的愛情を養い、保護者との信頼関係が早期に構築できるよう質の高い専門性や教育内容を目指す。幼児教育及び保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を現場で協調性をもって柔軟に活用できるように学ぶ。						
学修内容			到達目標			
① 保育内容を理解し実践する。 ② 保育実践について分析、考察、検討を行う ③ 保育内容について年齢的な発達を理解する ④ 問題解決のための対応、判断方法を身につける ⑤ 保育者としての知識、技術を習得する。			① 保育内容が理解でき実践できた ② 保育実践の振り返りを次に活かせるか ③ 年齢的発達が理解できた ④ 対応や判断方法に対し、積極的に参加できた ⑤ 保育者としての知識、技術の習得が見られた			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題意識を持ち進んで指導計画を作成し実践に取り組む。				
	働きかけ力					
	実行力	自らの指導計画に沿って保育実践を行う。				
考え抜く力	課題発見力	チームで研究課題を発見し保育内容を考え、指導計画を立案、実践する				
	計画力					
	創造力	発達年齢に合わせた指導計画を作成する。				
チームで働く力	発信力	実践演習の保育者や園児を意識し、適切な援助や声掛け働きができ、また、自分の意見をまとめ他者にわかりやすく発信する。				
	傾聴力	他者の意見を聞きくなどして、実践を振り返り反省し卒業後の保育実践に活用する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	講義開始時間や提出期限や時間などには余裕をもって対応する。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 参考文献:保育・教育に関する実践事例集 「幼稚園教育要領解説」文部科学省・「保育所保育指針解説書」厚生労働省・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:すべての教科 資格との関連:幼稚園教諭 2 種免許、保育士資格						
学修上の助言			受講生とのルール			
保育・教育実践演習は就職後の実践において、専門性が生かされるように工夫された演習科目である。保育内容についての知識を深めるようにする。			学生の積極的な自主学習や幼児の発達を把握し調査・保育内容の研究を望む。 指導計画は実践の 3 日前に提出し、その日の時間配分を考え準備等事前に行う。 それぞれの役割に応じて決められた場所に位置し、それぞれの立場で考察意見を述べる。 グループ討議は自分の意見や考えを活発に発信する。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	30	①	✓	保育実践に対して保育内容や対象年齢の発達を基準として評価できる。6点
		②		指導計画を理解し保育実践との整合性を判断する。6点
		③	✓	環境、子どもの姿、保育者の配慮や留意点等具体的に評価する。6点
		④	✓	授業を振り返り自分なりの課題意識を持つことができている。6点
		⑤	✓	自分の考えや他者の意見等まとめることができる。6点
成果発表 (口頭・実技)	20	①		実践演習2日前までには指導計画を立案し提出する。5点
		②	✓	実践するための準備、役割分担をあらかじめ決めておく。5点
		③	✓	主活動部分を20分実践する。5点
		④	✓	グループ討議はそれぞれの役割分担を決めスムーズに行う。5点
		⑤	✓	
作品	30	①	✓	指導計画は年齢とねらい、内容の整合性がみられる。6点
		②	✓	保育内容に対しての導入がある。6点
		③	✓	子どもが主体的に取り組みできる環境構成か。6点
		④	✓	また、それに対する保育者の配慮は適当であるか。6点
		⑤	✓	1日の保育の中で保育内容がスムーズに展開できる計画となっているか。6点
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	(主体性) 課題意識を持ち進んで指導計画を作成し実践に取り組める。
		②	✓	(実行力) 自らの指導計画に沿って保育実践を行う。
		③		(課題発見力) チームで研究課題を発見し保育内容を考え、指導計画を立案、実践できる。
		④	✓	(創造性) 発達年齢に合わせた指導計画の作成ができる。
		⑤	✓	(発信力) 実践演習の保育者や園児を意識し、適切な援助や声掛け動きや自分の意見をまとめ他者にわかりやすく発信できる。
				(傾聴力) 他者の意見を聞きくなどして、実践を振り返り反省し卒業後の保育実践に活用できる。
				(規律性) 講義開始時間や提出期限や時間などには余裕をもってあたること。
				学修に対して積極的な態度を評価する
				積極的に意見交換を行い発表する
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
指導計画と演習内容、指導方法の整合性がある。① 保育者として必要な知識・技能を身につけ、自信をもって実践し、保育者としての適性がある。② 保育内容についての自分なりの考えを持ち、理論的にまとめ、次なる課題意識を持つ。③ S(秀)=①+②+③ A(優)=①+②	保育者としての知識・技能を身につけ実践できる。① 保育内容についての自分なりの考えをもち、理論的にまとめている。② B(良)=①+② C(可)=①

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	実践的な指導力や手法習得するための実践演習を理解する。	講義(全体)	授業の内容を理解し課題意識を持つ。	(予習)授業内容の把握 (復習)	180	実行力 課題発見力 状況把握力
2週 /	保育・教育実践に向けて期待される保育者として大切なことを教育現場で実践体験者の指導を受け、実践演習体験をする。	演習(G1・G2) 質疑応答	本日の学びをレポート提出	(復習)授業内容の復習 (復習)	90 90	課題発見力 状況把握力
3週 /	保育実習Ⅱ・教育実習Ⅱで行った研究保育を報告、討議し、実践演習計画を立てる。	グループ討議 まとめと発表	グループ討議に参加、それぞれの役割を遂行しグループ発表	(予習・復習)保育内容検討 幼稚園教育要領、保育所保育指針復習	90 90	実行力 状況把握力
4週 /	学生が主体となり立案・計画・模擬保育の実践予定計画を立案するグループ分けを行う。	グループ演習 まとめと発表	主体的に参加する態度がみられる。	(予習・復習)保育内容検討 保育内容に合わせて計画を作成する	90 90	実行力 状況把握力
5週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備 演習対象年齢の発達を理解しておく。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
6週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備する 演習対象年齢の発達を理解しておく。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
7週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備する 演習対象年齢の発達を理解しておく。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
8週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備する 演習対象年齢の発達を理解	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / 10週	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案 教材準備する 演習対象年齢の発達を理解	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
10週 / 11週	ビデオを視聴し、2つの課題に対しての保護者対応を考え、問題解決のための対応、判断方法についての学びを深める。	ロールプレイング 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	保護者対応について保育者の役割をレポート提出	(予習・復習)保護者支援について情報収集 自分分の解決方法をレポートにまとめる	90 90	課題発見力 状況把握力
11週 / 12週	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案。 教材準備する 演習対象年齢の発達を理解	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
12週 / 13週	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案 狭隘準備する 演習対象年齢の発達を理解	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
13週 / 14週	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案 教材準備する 演習対象年齢の発達を理解	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
14週 / 15週	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出がある。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案 教材準備する 演習対象年齢の発達を理解	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
15週 / 16週	今までの実践を振り返り討議し、今後の自己課題を検討する。	グループ討議 レポート提出	履修状況を踏まえ、自らの学びを振り返り保育者としての必要な知識・技能をレポートにまとめ提出	(復習)今までの内容を復習 振り返りをまとめる	90 90	状況把握力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力